

日本語教育研究・情報センター
領域指定型共同研究プロジェクト

学習者コーパスから見た日本語習得の
難易度に基づく語彙・文法シラバスの構築

リーダー： 実践女子大学教授 山内 博之

現行の日本語シラバスの問題点

- 学習者の負担や実際の使用を考慮せず、初級で一通り文法項目が教えられている。
- 語彙の選定も、先例や経験による部分が多い。

大規模なデータに
基づいた
科学的な議論が必要

より良い日本語教育に貢献

最終目標

文法
シラバスの
構築

語彙
シラバスの
構築

共同研究員28名

- 学習者コーパスの分析
- 分布や頻度に基づいて重要度を決定

母語話者
コーパス
との比較

関連諸分野の知見を集約

若手研究者
の参画を促進

日本語
教育史

習得
研究

学習者
プロフィール

教授法・
評価法

学習
ストラテジー